

県民個人所得 全国上位迫る

確定申告の季節がやってきた。所得税の対象となる「課税対象所得」は、一年間の所得から社会保険料や配偶者控除などの所得控除を差し引いた金額で、個人の所得水準を示す。

総務省が公表している納税義務者一人当たりの課税対象所得を都道府県別に見ると、三重県は二〇一八～二〇年度の三カ年平均で三百二十一万九千円。全国上位に迫る十二位だった。

東海地方で比較すると、愛知県は三位、静岡県は十三位、岐阜県は十八位で、三重県の個人の所得水準は比較的高いといえる。県内の市町別では、一位は朝日町、二位は桑名市、三位は四日市市、四位は菰野町、五位は川越町、六位は鈴鹿市となり、北勢地域に上位が集中している。

所得や控除の内訳が不明なため明確な理由は分からないが、国の統計を分析すると、三重県の個人所得の水準が高い背景には、比較的大きな規模の事業所割合が高い▽県内を就業地とする有効求人倍率が全国上位など就業機会に恵まれている▽賃金水準が全国でも比較的上位にある一といったことが関係しているのかもしれない。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子)



※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む (百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました)」

2022年2月3日